

国勢調査の調査票の紛失について

令和7年12月26日、独立行政法人統計センターにおいて、令和7年国勢調査の調査票を総務省第2庁舎敷地内で移送中、強い突風にあおられ、一部調査票が飛散しました。9枚の調査票が直ちには回収できず、その後、搜索に努め、3枚の調査票を敷地内・外で発見したものの世帯からご提出いただいた6枚の調査票（愛媛県砥部町と伊方町の計6世帯分）は現段階で発見できない状況にあります。

このような事態を招いたことについて、調査票をご提出いただいた世帯及び調査に携わった関係者の皆様に、深くお詫び申し上げます。

なお、関係世帯の情報がネット上に流出した事実等は、現時点で確認されておりませんが、近日中に直接個別にお詫びをさせていただきたいと考えています。

また、紛失した調査票の搜索については、職員による実地搜索のみならず、警察への紛失届の提出、近隣の皆様へのご協力の呼びかけにより実施してまいりましたが、引き続き、統計センター内に搜索態勢を維持し発見・回収に努力してまいります。

1 経緯

12月26日（金）国勢調査の記入済み調査票について、総務省第2庁舎敷地内を台車で移送中、強い突風にあおられ、一部調査票が飛散。直ちに回収及び搜索を実施したが、9枚が不足。警察に紛失届を提出。

12月27日（土）敷地内に加え、敷地外を搜索し、庁舎敷地内で1枚、敷地外で2枚の調査票を発見

12月28日（日）引き続き、職員により敷地内・外を広く搜索

12月29日（月）統計センターホームページに本事案の一報及び理事長の謝罪文を掲載。併せて、職員による搜索を継続しつつ、近隣世帯を個別訪問し調査票を発見した場合の連絡について協力を依頼

12月30日（火）から現在（1月7日）まで

年末年始を通じて搜索態勢を維持し、引き続き搜索を継続

2 原因と再発防止策

原因は、調査票を段ボール製の収納ケースに納めて台車で移送する際、結束バンドによる固定が不十分であり、また、収納ケースの蓋が開いてしまうほどの強い突風が発生する事態が十分に想定できておらず、強風時の安全対策が不十分だったことでした。

再発防止策として、移送前に結束バンドによる固定状態を確認するとともに、天候の状況にかかわらず、調査票の移送時には、必ず防雨・防風シートで全体を覆った上で移送する運用に改めました。そのほか、業務フローを点検し、リスクがあると判断されるものについては、随時改善いたします。

3 今後の対応

今後、このような事案の再発防止に向け、飛散防止対策を含め、職員に対し改めて調査票の適切な取扱い・管理を徹底してまいります。

また、確認できない6枚の調査票をご回答いただいた世帯に直接謝罪をいたします。

連絡先

独立行政法人統計センター

統計技術・提供部 田中統計技術・提供部長

総務部経営企画課 江原経営企画課長

電話番号：03-5273-1257